

やっほー

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 7 4

発行日 平成25年(2013年)10月7日

編集 地域づくりネットワーク長野県協議会
事務局(長野県総務部市町村課地域振興係内)

電話 026-232-0111(内線2131)

FAX 026-232-2557

E-Mail s-shinko@pref.nagano.lg.jp

URL <http://zuku.umic.jp/hp/yonet/>

やまびこフォーラム2013 in 飯山 を開催します!

人口減少が進むと、集落や地域はどうなるでしょうか?

今年のやまびこフォーラムでは、「過疎化」が進む中でも集落を活性化するためにがんばっている3つの集落をモデルに、集落や地域を元気にするヒントを探ります。

静かなブナの森で、これからの集落について、みんなで一緒に考えてみませんか?

- 日時 11月16日(土) 午前10時から
- メイン会場 なべくら高原 森の家(飯山市)
- 参加費 1,000円(昼食代込み)
- スケジュール

お申込みは
北信支部まで



~詳しくは、同封のちらしかホームページ(<http://zuku.umic.jp/hp/yonet/>)をご覧ください。~

地域づくりコーディネーター研修会に参加しました。

全国協議会主催「地域づくりコーディネーター研修会」に参加した会員さんから、報告書が届きましたのでご紹介します。

- 日 時：平成25年8月5日（月） 午後1時～5時
- 場 所：スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）
- 参加者：飯山倶楽部（北信支部） 内堀真知子さん
- テーマ：～地域の魅力を発信！～地域資源活用によるまちづくり

■ ■ ■ 研修レポート ■ ■ ■

8月5日、神戸市三宮で開催された「平成25年度地域づくりコーディネーター研修会」に参加しました。今回のテーマは「地域資源活用によるまちづくり」で、3名のパネリストの事例発表とパネルディスカッションで進められました。

パネリストの**島田昌幸氏**（株ファミリア 代表取締役社長）は農業の流通整備、生産計画の策定・販売・飲食店・不動産業までゆるやかなホールディング組織で事業展開している若手経営者。

農産物は「おいしい」というだけでなく、具体的な理由説明が必要であり、原料（農産物）の加工だけでなく、サービスの付加価値（例：急速冷凍技術、乾燥、粉末技術など）が必要となるとし、事業展開には「ビジョンとコンセプト」が非常に大切で、揺るぎない目的（ゴール）を設定してあればいろんなアプローチ方法が試せるとしました。

やまぐちくにこ氏（淡路島アートセンター）は、台風で壊れた民家を人が集まれる場に改造したことをきっかけに、淡路島の伝統や文化を考えるようになり、様々なイベント企画に携わりました。

これにより島のアーティスト達の視点を通じて地域を見るようになり
 集客よりもどれだけの人が賛同してくれたかが評価されていることから
 仲間や協力者との関わり方が重要であるとお話しされました。

東谷望史氏（馬路村農協 代表理事）は、ユズを売るために悪戦苦闘を繰り返し、年商30億円の成長を遂げた立役者として有名な方です。

商品に村名をつけたことで、馬路村のユズを売ることが地域ブランドと考え、商品とともに村を売り込んでいます。

3氏ともに地域資源の活用を「経営」に結び付けているところが成功の共通点だと思います。

交流会では、参加者から地域づくり活動での苦労話なども聞け、大変有意義な研修会でした。皆様もぜひご都合あわせて参加してみたいはいかがでしょうか。

～次回の研修会は、平成26年3月に開催予定です。～
詳細が分かり次第ご案内しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

～下伊那支部～ 「地域おこし協力隊」と交流しました。

最近、メディアでもよく取り上げられる「地域おこし協力隊」、どんな人がどんな活動をしているのか、みなさんご存じですか？

現在、県内で活動する隊員は約70人。長野県の生活に憧れて、都会での仕事から転職してきた20～30代の方が多く、個性と経験が豊かなメンバーがそろっています。

隊員の任期は3年以内で、配属された地域のみなさんと一緒に、地域を元気にするために活動しています。

農業加工品の開発・販売、地域のイベントの支援、ブログやFacebookによる情報発信等に関わる隊員が多く、「若い感性」や「都会の感覚」があちらこちらに発揮されています。

一方、「よそ者」である隊員にとって、未知の地域に入ってネットワークを作っていくのは、本当にパワーが必要なことなんだそうです。

地域の約束事が分からなかったり、誰も頼る人がいなかったり、悩みは尽きません。

そこで、「地域を元気にしたい」という同じ思いで活動している「やまびこネットワーク」と「地域おこし協力隊」がつながれば、お互いの活動が広がるのではないのでしょうか。

先日、下伊那支部の会員さんと下伊那地域で活動する「地域おこし協力隊」との交流会が行われましたので、その様子をご紹介します。

- 開催日：8月29日（木）午後2時～5時
- 内 容：地域おこし協力隊の事例発表、意見交換、懇親会
- 参加者：下伊那支部会員 6名、地域おこし協力隊 25名、行政関係者 24名

～下伊那支部会員さんの声～

最近、新聞などで中山間地域の活躍をよく見かけるようになったが、「地域おこし協力隊」がその取組を支えている、ということを初めて知った。

「地域おこし協力隊」の活動を初めて知り、活動から学ぶべきことがたくさんあると思った。

若い人の目で地域の「宝」を発見してもらい、大胆な発想で、特産品の開発やPRと一緒に研究してほしい。

3年と言わずに地域に定着していただき、行政や団体と一緒に、地域が羽ばたいていけるように活躍してほしい。

～隊員の声～

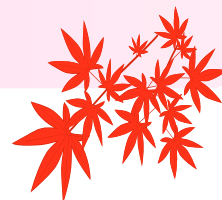
協力隊の任期が終了した後、それまでの活動を継続できる仕組みや、協力隊が地域に残れる仕組みをつくるのが大切。

隊員の多くは、「南信州」という地域が好きで来ており、外から見れば「南信州」に市町村の境はない。市町村の枠にとらわれず、隊員どうしが協力して「南信州」の地域づくりに取り組んでいきたい。

地域の生活や文化を生み出すには、長いスパンでの取組が必要。「南信州」全体が好きなので、4年目以降は村外にも活動の幅を広げ、「南信州」全体を活性化させていきたい。



「共同活動支援事業」が決まりました。



やまびこネットワークの会員同士が交流・連携するきっかけを作るため、今年度は、複数の会員さんが企画・実施する事業に必要な経費を助成します。募集の結果、2事業を決定しました。

① 地域活動共感写真コンテスト

主催：持続可能な松本平創造カンパニー
わおん♪（松本支部）
やまがた風土考房（松本支部）

内容

- 26年1月～2月
地域で活動する団体から活動風景の写真を募集
- 26年1月～2月
地域住民が最も共感した写真を選ぶコンテスト
（塩尻市市民交流センター、
松本市市民活動サポートセンター、
山形村ミラフード館）

② ハケ岳山麓の魅力発見ツアーとフォトコンテスト

主催：くらフォーラム in ハケ岳（諏訪支部）
諏訪自然塾（諏訪支部）

内容

- 10月26日（土）
ハケ岳山麓の魅力スポットをめぐるバスツアー
- 9月1日（日）～12月31日（火）
「ハケ岳山麓の自然と生活文化」をテーマとするフォトコンテスト
- 26年2月11日（火）～23日（日）
作品展（茅野市文化センター）

～事業の実施状況は、「やっほ～」次号以降でご報告します。～

■ 会員情報 ■

- 会員数 135団体（H25.9.30現在）
- 新しい仲間を紹介します！

支部	会員名	活動内容
諏訪	NPO法人 維新塾	諏訪地域の活性化と市民生活の向上に寄与することを目的として、近年はネットショッピングを主体に地域の商品・活動を全国に発信しています。（ http://www.akindou.net ）
上伊那	上伊那郷土研究会	郷土の自然・歴史・民俗等に関する研究調査を行い、月刊郷土学芸誌『伊那路』の編集・発行を行っています。
長野	長野市信更地区住民自治協議会	信更地区の住民相互の協力による活動を通して地域の活性化を図り、住民が安心していきいきと暮らせる地域をつくることを目的に活動しています。

年会費のお支払いは済みましたか？

前回の「やっほ～」で年会費の納付をお願いしたところ、多くの会員さんにお支払いをいただき、ありがとうございました。みなさんの会費は、このネットワークを運営するために大切な財源です。お手数ですが、お近くの郵便局でお早めにお支払いをお願いします。

